

平成28年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)補助事業者変更承認申請書

平成28年8月2日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

学振大学・理学部・教授
学 振 一 郎

[印]

平成28年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(特別研究員奨励費)について、下記のとおり補助事業者を変更したいので、ご承認くださるようお願いいたします。

記

1. 変更内容

- a 研究代表者の交替(※)
- b 研究分担者の変更

(※)「研究代表者の交替」は、「新学術領域研究(研究領域提案型)」及び「特別研究員奨励費(外国人特別研究員)」において、補助条件に規定された条件を満たす場合のみ、変更承認申請を行うことができます。

2. 課題番号

16F12345

3. 研究課題名

〇〇に関する研究

4. 交付決定額

合 計	10,000,000 円
直接経費	10,000,000 円
間接経費	0 円

5. 補助事業者及び役割分担

		変更前(旧)				変更後(新)															
研究代表者	研究者番号	10345678	機関番号	23235	部局番号	250	職番号	20	研究者番号	10345678	機関番号	23235	部局番号	250	職番号	20					
	氏名	学 振 一 郎				学 振 大 学 ・ 理 学 部 ・ 教 授				氏 名				学 振 大 学 ・ 理 学 部 ・ 教 授							
	役割分担	直接経費(研究者別内訳)				5,000,000円				役割分担				直接経費(研究者別内訳)				1,111,111円			
	研究の総括	〇〇の調査・分析				0円				研究の総括				〇〇の調査・分析				0円			
	削除																				
研究分担者	研究者番号	20345677	機関番号	23235	部局番号	250	職番号	20	研究者番号	20345677	機関番号	23235	部局番号	250	職番号	20					
	氏名	文 科 太 郎				学 振 大 学 ・ 理 学 部 ・ 教 授				氏 名				学 振 大 学 ・ 理 学 部 ・ 教 授							
	役割分担	直接経費(研究者別内訳)				3,888,889円				役割分担				直接経費(研究者別内訳)				3,888,889円			
	研究の総括	〇〇の調査・分析				0円				研究の総括				〇〇の調査・分析				0円			
	研究代表者																				
研究分担者	研究者番号	John Smith	機関番号	学振大学・理学部・外国人特別研究員	部局番号		職番号		研究者番号	John Smith	機関番号	学振大学・理学部・外国人特別研究員	部局番号		職番号						
	氏名	John Smith				学 振 大 学 ・ 理 学 部 ・ 外 国 人 特 別 研 究 員				氏 名				John Smith				学 振 大 学 ・ 理 学 部 ・ 外 国 人 特 別 研 究 員			
	役割分担	直接経費(研究者別内訳)				0円				役割分担				直接経費(研究者別内訳)				0円			
	研究の総括	〇〇の調査・分析				0円				研究の総括				〇〇の調査・分析				0円			
	研究分担者																				
研究分担者	研究者番号		機関番号		部局番号		職番号		研究者番号		機関番号		部局番号		職番号						
	氏名									氏 名											
	役割分担	直接経費(研究者別内訳)				円				役割分担				直接経費(研究者別内訳)				円			
	研究の総括									研究の総括											
	研究分担者																				

(注)・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

研究者番号	機関番号	部局番号	職番号	研究者番号	機関番号	部局番号	職番号
氏名	所属研究機関・部局・職			氏名	所属研究機関・部局・職		
役割分担	直接経費（研究者別内訳）			役割分担	直接経費（研究者別内訳）		

6. 事実発生（予定）年月日

(1) 事実発生（予定）年月日
平成28年8月31日

所属機関の変更があるものは、変更後の応募資格の有無およびその変更先も記入（記入例については作成上の注意を参照）

<例>

・平成XX年XX月XX日付で退職し、科研費応募資格を喪失するため（転出先：〇〇病院）。

・平成XX年XX月XX日付で退職し、科研費応募資格を喪失するため（転出先：なし）。

(2) 補助事業者の変更年月日

（所属機関を変更する場合には、応募資格の有無も記載すること。）

研究代表者の学振一郎が平成28年8月31日付けで退職し、応募資格を喪失するため。

（退職後は、科学研究費補助金取扱規程にて指定された機関への所属なし）

7. 研究分担者の変更にかかる確認事項

(1) 研究分担者を削除しても研究計画の遂行に支障がない理由（削除の場合のみ）

（以下の点を必ず網羅した上で具体的に記入すること。）

- ・ 外そうとする研究分担者の役割分担
- ・ 外そうとする研究分担者の承諾の有無（分担者が欠けた場合を除く。）
- ・ 当該分担部分の代替手段（役割分担や研究計画の変更等）
- ・ 研究計画の進捗、目的達成について支障がない理由

(2) 新しく研究分担者として追加する者の適格性（追加の場合のみ）

（以下の点を必ず網羅した上で具体的に記入すること。）

- ・ 追加しようとする研究分担者の役割分担
- ・ 当該分担者を追加する必要性
（追加することで得られる効果、分担者としての適格性、当該研究課題との関係等）
- ・ 追加しようとする研究分担者の承諾の有無
- ・ 承認後から分担金を使用可能であることの認識の有無

8. 研究代表者交替にかかる確認事項

(※) 「研究代表者の交替」は、「新学術領域研究（研究領域提案型）」及び「特別研究員奨励費（外国人特別研究員）」において、補助条件に規定された条件を満たす場合のみ、変更承認申請を行うことができます。

(1) 研究代表者を変更しても研究計画の遂行に支障がない理由

文科太郎は研究代表者の学振一郎と同じ研究室に所属し、当該研究課題に密接に関連した「〇〇」を主な研究課題としている。従って、文科太郎の専門知見は当該研究計画の遂行上不可欠であり、研究計画の遂行に支障は生じない。

(2) 新しく研究代表者になる者の研究代表者としての適格性

文科太郎の主な研究テーマが当該研究課題と密接に関連していることに加え、これまでに研究代表者及び外国人特別研究員のJohn Smithとの共同研究の実績も有しており、情報共有や研究実施体制はすでに構築されている。従って、当該研究課題の研究代表者としての的確である。

(3) 新しく研究代表者になる者の略歴（研究歴を含む。）及び研究成果公開発表状況について別紙一覧の通り（記載例では別紙一覧は省略する。）

(4) 新しく研究代表者になる者の了解

新しく研究代表者となることについて承諾します。

新研究代表者氏名 文科太郎 [印]

(注) ・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷すること。

<対応事業>

- ・新学術領域研究 (いずれの場合も科学技術・学術審議会の審査を経た上で申請すること)
 総括班研究課題、生命科学系3分野支援活動 及び 学術研究支援基盤形成
 …… ①研究代表者が応募資格を有しなくなる場合 又は それ以外のやむを得ない事由
 及び
 ②研究代表者が欠けた場合 (※)
 総括班研究課題以外の計画研究
 …… 研究代表者が欠けた場合 (※) のみ
 ※「研究代表者が欠けた場合」とは、死亡や失踪など研究代表者自身がこの申請書を作成できない場合を指す。
- ・特別研究員奨励費・・・外国人特別研究員のみ

1. この申請書は、研究代表者を交替する場合にA4判(縦長)・両面印刷で作成し、所属する研究機関を経由して、事前に提出すること(新学術領域研究においては、科学技術・学術審議会の審査を経た後、速やかに提出すること)。

また、本様式の提出にあたっては、交付申請書の写を一部添付すること。その他、提出時に添付すべき書類は「様式提出時 添付書類一覧(補助金用)」を参照すること。

なお、実際の補助事業者変更は承認後となるので、研究代表者を交替した場合の補助金の使用は承認後に行うこと。

2. 「研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名」欄には、研究代表者の所属する研究機関名、部局名、職名を省略せずに記入すること(部局のない研究機関の場合は、部局名は不要)。

研究代表者の氏名は、記名押印又は署名により記入すること。なお、研究代表者の印は、印肉を使用して押印するものとする。

3. 「1. 変更内容」のうち該当する事項を選んで○を付すこと。

4. 「a 研究代表者の交替」については、上述の「対象事業」に挙げる、「新学術領域研究(研究領域提案型)」及び「特別研究員奨励費(外国人特別研究員)」のうち、補助条件に規定された条件を満たす場合であること。また、本申請書は事前に作成し、提出すること(「新学術領域研究(研究領域提案型)」については、科学技術・学術審議会の審査を経た後、速やかに作成し、提出すること)。

5. 「2. 課題番号」欄には、交付決定通知書に記載の課題番号(8桁)を記入すること。

「特別研究員奨励費」の場合は、「課題番号」欄には交付決定通知書に記載された課題番号を右詰で記入すること。

(例) 外国人特別研究員の場合

1 : 6 : F : 0 : 1 : 2 : 3 : 4

6. 「3. 研究課題名」欄には、交付申請書に記載の研究課題名を記入すること。

7. 「4. 交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の交付決定額を記入すること(間接経費交付決定額変更申請を行うなど交付決定額を変更した場合には、変更後の交付決定額を記入すること)。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。

8. 「5. 補助事業者及び役割分担」欄には、研究代表者・研究分担者の氏名(研究者番号)、所属研究機関・部局・職(機関番号・部局番号・職番号)、直接経費(研究者別内訳)及び役割分担の具体的内容を、「変更前(旧)」、「変更後(新)」の各補助事業者についてそれぞれ記入すること。なお、当欄については、必要に応じて様式の記入欄を追加しても差し支えない(様式全体で2枚以上の構成も可)。

交付決定後、本申請書提出までに補助事業者が所属機関を変更している場合、「変更前（旧）」「変更後（新）」欄には、変更後の研究機関名等を記入すること。

○作成に当たっては、以下を踏まえ必要に応じ記入例を参照し、作成すること。

- ・研究代表者を「交替」する場合は、変更前の研究代表者について、「変更前（旧）」に必要事項を記入の上、「変更後（新）」の直接経費欄に使用額を記入すること。使用額がない場合には「0」を記入すること。また、新しく研究代表者になる研究分担者について、「変更前（旧）」欄に必要事項を記入の上、「変更後（新）」を研究代表者欄とし、必要事項を記入すること。

9. 「6.（1）事実発生（予定）年月日」欄には、研究代表者が欠けた場合はその事実発生日を、研究代表者が応募資格を有しなくなる場合又はそれ以外のやむを得ない事由の場合は退職等により研究ができなくなる年月日（予定）を記入すること。なお、補助事業者の変更は、日本学術振興会の承認後となるので、補助金の執行にあたっては十分留意すること。

「6.（2）補助事業者の変更が生じた理由」欄には、変更が必要となる研究上の理由をできる限り具体的に記入すること。（所属機関の変更があるものは、変更後の応募資格の有無およびその変更先も可能な限り記入すること。）

（研究代表者を交替する場合の例）

- ・平成XX年XX月XX日付で退職し、科研費応募資格を喪失するため（転出先：〇〇病院）。
- ・平成XX年XX月XX日付で退職し、科研費応募資格を喪失するため（転出先：なし）。
- ・研究分担者である〇〇〇〇が平成XX年XX月XX日付で外国人特別研究員の身分を喪失し、平成XX年XX月XX+1日付で科研費応募資格を得るため（転出先：〇〇大学、転出後の職名：助教）。

10. 研究代表者を交替する場合には、交替前の研究代表者は、新たに研究代表者となる研究者の了解を得た上で、

8.（1）～8.（3）についてできる限り具体的に記入すること。

また、8.（4）については、新たに研究代表者となる者の押印の上、提出すること。

○記入にあたっての注意点

（1）・・・研究計画の進捗、目的達成について支障がない理由等について記入すること。

（2）・・・研究課題との関連性、研究遂行能力、当該研究課題のみならず全ての業務量を踏まえて本事業の遂行が可能であるとする理由等について記入すること。